



## ●特長

### ○コスト縮減工法

正面面積 1 m<sup>2</sup>あたり 1 個使いで水平積みのため、施工が容易で経済的な環境保全型ブロック工法です。  
大型で施工が容易なため、工期を短縮でき経済的です。

### ○多自然型川づくり適合工法

中詰部に土砂やれきを充填し、植物や水生昆虫などに生息の場を提供します。  
水面下においては凹凸のブロック形状によって多様な水際となり、魚巢効果が期待できます。  
景観に配慮し、前面は擬石模様としています。  
ブロック前面に金網を取り付けることもできます。

### ○空積連結ブロック工法

壁体質量が大きいので背面土圧に対し十分な安定性があり、耐久性があります。  
上下ブロックのかみ合わせと連結によって一体性のある構造です。

### ○資源有効活用工法

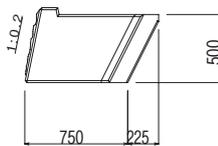
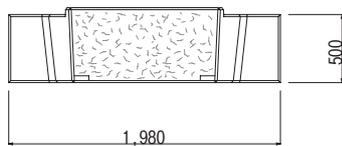
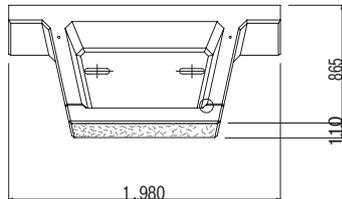
現地発生材やコンクリートガラなどのリサイクル材の活用が可能です。

### ○用地の有効活用工法

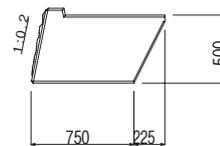
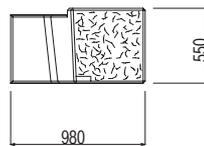
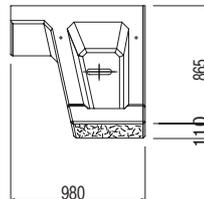
前面壁が後方へ傾いているため、河積阻害が少なくなります。

## ■規格図

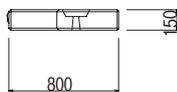
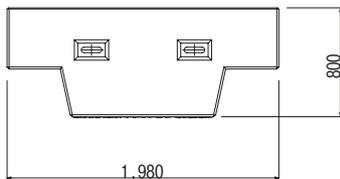
□標準型 A型



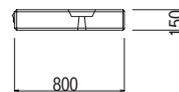
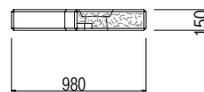
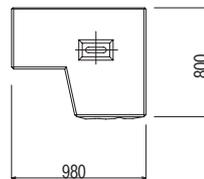
□標準型 B型



□標準型 C型

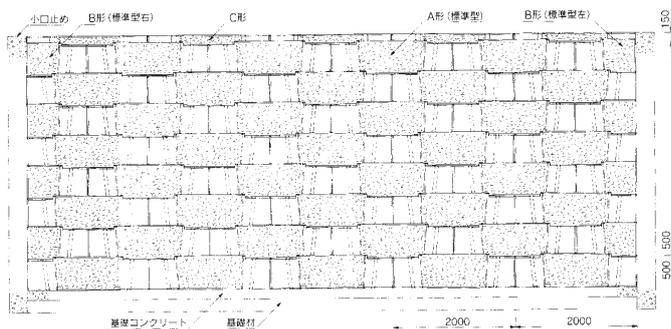


□標準型 D型



形式	区分	主要部寸法 (mm)	体積 (m <sup>3</sup> )	参考質量 (kg/個)	中詰土量 (m <sup>3</sup> /個)	壁体質量 (kg/m <sup>3</sup> )
標準型	A型 (基本)	500×1,980×865/750	0.355	816	0.213	1,135
	B型 (端部)	500× 980×865/750	0.207	476	0.073	—
	C型 (天端)	150×1,980×800	0.188	432	—	—
	D型 (天端)	150× 980×800	0.092	211	—	—
金網型	A型 (基本)	500×1,980×865/750	0.309	710	0.251	1,086
	B型 (端部)	500× 980×865/750	0.195	448	0.081	—

## ◆展開図



## ◆断面図

